

yamaguchi

Fujikai

ふじんかい

山口県連合婦人会 会報

2026.3

Vol. 71

発行／山口県連合婦人会



山口市湯田温泉5丁目1番1号
カリエンテ山口内

(山口県婦人教育文化会館)

Tel 083-925-7345 Fax 083-928-7346

e-mail:yamakenfu@ray.ocn.ne.jp

https://www.yamaguchifujinkai.com



県知事表敬訪問 令和7年安全功労者内閣総理大臣表彰報告



全国大会 歓迎セレモニー

特集 山口県交通安全母の会の活動 P4~5

あいさつ P2

地域婦人会リーダー相互研修会 P3

全国大会in沖縄・中国ブロック会議 P6

次世代リーダー研修会 P7

フィルムレポート P8

ごあいさつ



山口県連合婦人会
会長 藤井 恵子

二〇二五年の一年を振り返り、山口県連合婦人会を代表してご挨拶申し上げます。

本年も、会員の皆さまをはじめ、関係機関や地域の皆さまのご理解とご支援により、本会の活動を継続することができましたことに、心より感謝申し上げます。

私事ではございますが、本年、本会の会長という大役をお引き受けいたしました。長い歴史と実績をもつ本会の舵取りを担うことに、責任の重さを強く感じております。先輩方が築いてこられた歩みを大切に受け継ぎながら、謙虚な姿勢を忘れず、会員の皆さまのお力をお借りして務めてまいりたいと思っております。

社会全体では、急速な人口減少と少子高齢化が進み、地域の担い手不足が深刻さを増しています。本会におきましても、会員数の減少という大きな課題に直面しております。これまで当たり前に行っていた活動が、同じ形では続けれない場面も増えてまいりました。しかし、この現実から目を背けることなく、今だからこそ

何ができるのかを考える時期にきていると感じています。

本年は干支という午年です。馬は力強く前へ進む一方で、状況に応じて歩みを調整する柔軟さも備えています。人数が少なくても、一人ひとりが役割を持ち、思いを共有することで、活動は十分に続けていくことができます。形にとられず、無理のない規模で、できることを丁寧に積み重ねていくことが、これからの婦人会には求められているのではないのでしょうか。

また、次代を担う若い世代の皆さんには、生活の中で感じた率直な声や新しい発想を、ぜひ婦人会の場で生かしていただきたいと願っております。経験を重ねてきた世代と若い世代が学び合い、支え合うことで、活動は新たな広がりを見せると信じております。

本誌が発行される三月は、新たな年度への節目でもあります。二〇二五年の経験を糧に、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向け、歩みを進めてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



山口県連合婦人会
顧問 藤家 幸子 様

さわやかな春風と共に新年度が始まりました。

山口県連合婦人会は、女性の視点で活動を展

開し地域貢献の精神は脈々と受け継がれ二〇二四年には設立七十周年の節目を盛大に終えることができました。

近年、情報の多様化やAI事業により女性活躍の道も随分開かれたように思えます。しかし、地震や線状降水帯など自然災害に「いつ・どこで・だれが」遭遇してもおかしくない現状では「防災・減災」への備えが必至となりました。

二年前、穏やかな元日に発生した大地震は能登半島の人々の暮らしを瞬時に奪ってしまいました。見るも無惨な地域の変わりように何を恨んだらよいのか・何をどうすればよいのか声が枯れるまで泣き叫んだ。時間の経過と共に、自分たちは多くの人に支えられていることに気づかされた。被災五ヶ月後開催の日本赤十字全国大会では現地の高校生による書道パフォーマンスが披露されました。全国からの参加者一五〇〇人も胸が熱くなり目頭を拭ったことでした。

婦人会の原点である「誰かのお役に立つ」行動力を組織力としてパワーアップしていくことが求められます。自然に抗うことなく地域との関わりは信頼関係の広がりや深まりへと繋がります。

明るい未来へ・八十周年へ向け婦人会としての実践力の継続をご期待申し上げます。皆様方のご多幸とご健勝を念じお礼のご挨拶といたします。長い間お世話になりました。ありがとうございました。



地域婦人会リーダー相互研修会による 周南市連合婦人会

十月十日に、令和七年度『山口県地域婦人会リーダー相互研修会』を引き受けるに当たって、周南市各地区の理事で共有したことがありますが、それは、これまでの山口県各地で開催されてきた歴史を振り返り、周南市ならではのおもてなしにしようということでした。

会場は、皆さまが集まりやすいように、山陽自動車道熊毛インターに近い、サンウイング熊毛に決めた下見、県連の皆さまと諸調整しながら、振り返れば、心をひとつにした一歩一歩の歩みでした。

オープニングに、周南市連合婦人会会長所属くるみ&カトレア合唱団の、『まど・みちおの宇宙より〜女性合唱のための童謡メドレー』としたのは、周南市ご出身の詩人として周南市連合婦人会が大切にしてきた「まどさん」の詩を紹介したいというおもいでした。研修会の趣旨に「誰もが心豊かに暮らせる地域社会」「誰一人取り残されることのない持続可能な地域社会の実現」とあり、テーマを『生涯を通して 地域とともに』と設定。介護福祉士としての経験を生かし、ギャップフィ



くるみ&カトレア合唱団



藤井会長あいさつ

開会行事



クロストーク



大平講師・岡崎様



会員からの質問

リング株式会社を設立した地元在住藤本真樹さんに相談し、講師は周南公立大学人間健康科学部看護学科の大平光子先生にお願いしました。また、周南市鹿野地区在住、六人男子の母でもあり、PTCA会長を務めながら、やまのナーズとして、ふらっと食堂、かくれがマルシェ、おでかけ縁側など多彩にご活躍の岡崎麻衣さんとのクロストークが実現、実際の地域活動に学ぶことが出来ました。

周南市生涯学習課の職員の方々とも協働、お忙しい中來賓の皆さまには熱心にご高覧いただきました。山口県各地から多くの婦人会員にご参加いただき、複十字パネルコーナー、特産品コーナー、もったいないバザーのコーナー等協力していただきました。たくさんの方の協力のもと、婦人会ならではの研修会が無事終わり、バトンをつなぐことが出来ました。

多くの関係者の皆さまに感謝申し上げ、お礼の言葉といたします。



県知事表敬訪問 2025.8.7



十一月二日に宇部市の大きなイベントの一つ『宇部まつり』に合わせて結核予防の啓発活動を行いました。今年はデイズニーがメイン通りをパレードすると言う事で例年を上回る十五万人の方の来場で大盛況でした。啓発会場は新しく出来た市役所交流館の一角に行いました。人の流れが途切れる事なく皆様に広く結核予防の大切さを知っていただきました。



リーダー研修会会場にて 2025.10.10

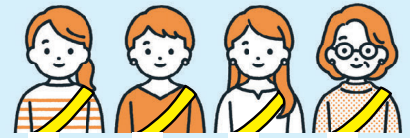


複十字シールキャンペーン うべまつり 2025.11.2

複十字シール運動



母の会の活動



高齢者交通安全教室の実施、知事メッセージ伝達、春・秋の全国交通安全運動の啓発事業の協力等を行っています。

令和7年安全功労者内閣総理大臣表彰

山口県連合婦人会では、昭和44年の設立以来、交通安全母の会の活動として、地域に根ざした交通安全の取り組みを続けてきました。なかでも私たちが大切にしてきたのが、高齢者世帯を一軒一軒訪ねる「高齢者世帯訪問」です。顔を合わせてお話をしながら、日頃の様子を伺い、安全への声かけを行うこの活動は、県内各地の婦人会の皆さんによって長年受け継がれてきました。

訪問の際には、「交通安全」と書かれたトイレットペーパーや、会員が心を込めて作った手作り品をお渡し喜んでいただくことも多く、私たち自身の励みにもなっています。交通安全を身近に感じていただく大切なきっかけになればという思いで続けてきました。

こうした日々の積み重ねが評価され、令和7年には「安全活動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞することができました。長年の活動が認められたことを、うれしく、また身の引き締まる思いで受け止めています。



藤井会長 首相官邸にて

交通安全母の会の成り立ち

交通安全母の会とは、交通安全の啓発活動を行うボランティア団体です。

昭和40年代高度成長期を迎え、本格的な車社会の到来により、交通による死亡事故が多発し、交通戦争とまで言われるに至った時代の要請に応じて結成されました。

山口県では、全国に先駆け、各地域婦人会が交通安全活動を担うことになり、昭和44年3月に「山口県連合婦人会交通安全母の会」として県組織になりました。

その後平成16年に「山口県交通安全母の会」と改称し、現在に至ります。

発足時の主な活動として「交通安全母のつどい大会」の開催や「全国交通安全キャラバン隊」の実施がありました。



交通安全全国キャラバン
県庁出発式 S58



美祢市長へ伝達 H6



幼稚園を訪れて H9

山口県交通安全

婦人会活動の中で、交通安全啓発は重要性を占めています。現在の主な活動は、高齢者世帯訪問、

高齢者世帯訪問

現在、交通安全母の会の活動の中で最大の事業です。

毎年9月～12月にかけて、75歳以上の高齢者2000世帯の訪問を行います。地域の警察署や関係団体と連携し、訪問計画を立て事前研修会を開催し地域の交通事情を学習します。

訪問にあたっては「交通安全」のタスキを掛け、数名一組になり高齢者宅を訪問し、手作りの交通安全トイレットペーパー等のグッズやチラシを届け、交通安全の啓発をします。終了後は事後検討会を開き、報告書をまとめます。



宇部市



大島郡



阿武郡



啓発グッズの準備 下松市



交通安全は家庭から

山口県交通安全母の会



交通安全を願ってのぼり旗を作りました

高齢者交通安全教室

交通事故に遭わない・起こさないための啓発と交通安全意識の高揚のために毎年県下4会場で行っています。



柳井市では、バタフライアリーナで、地元の小学生と一緒に交通安全教室を開催しました。



県庁前出発式



交通安全啓発アトラクション

春・秋の全国交通安全運動出発式



第73回全国女性団体研究大会 inおきなわ

阿武郡福賀婦人会 市原三千子



令和七年十一月二十五日、二十六日の二日間、第七十三回全国女性団体研究大会 in おきなわが沖縄コンベンションセンターにて開催されました。

私たちが阿武郡婦人会は三名が参加しました。

研修一日目は、歓迎セレモニーの南風原高校の郷土芸能部の琉球楽器や琉球舞踊、空手やエイサーなどがあり見ごたえがありました。

午後は第二分科会のお笑いタレントの喜舎場泉さんと山田力さんによる「よんなく笑って介GO」に参加しました。喜舎場泉さんのお母さんは七十五歳で認知症になり、姪と協力しながら九年間、介護と仕事の両立をされた介護実体験をコントにしたお話をしました。

一日目終了後、懇親会あり、全国の婦人会会員の方たちとテーブルを囲み、楽しいひとときを過ごすことができました。

研修二日目は、記念講演「人づくりの種をまく」と題して演出家・脚本家の平田大一人のお話を聞き、大会は終了しました。大会終了後の午後は



第2分科会



全女会 櫻井会長

オプショナルツアーのBコース「座喜味城跡&やちむんの里」に参加し、昼食にソーキそばを食べ、散策、見学、お買い物をしました。
三日目、山口県へ帰路につく日の午前には首里城へ寄り、正殿を覆っていた素屋根が外され赤い外観を見ることができました。
三日間はお天気に恵まれて、有意義な研修と観光ができ、思い出に残る大会でした。



懇親会



座喜味城跡



首里城



2025 11 25

**全国女性団体連絡協議会
中国ブロック会議 広島県開催**
玖珂郡連合婦人会 井口美智子

令和七年度全国女性団体連絡協議会中国ブロック会議が十月二十一日、二十二日に広島県民文化センターで開催されました。

中国五県の地域婦人会会員約四〇〇名の参加の中、「信条」の唱和からの厳粛な会の始まりとなりました。

戦後八十年、被爆八十年で考える平和と体験の伝承と復興の記録、これからの地域女性（婦人）団体のあり方をテーマに、四つの講演並びに各県の会長と理事による活動の発表が、二日間にわたり行われました。

開催行事では、全国女性団体連絡協議会の荒木ミドリ副会長が主催者挨拶をされ、広島県連合婦人会の田房明美会長が歓迎の言葉を述べられました。さらに来賓の広島県知事湯崎英彦様のメッセージを代読いただき、広島県教育委員会教育長篠田智志様からご挨拶をいただきました。

「被爆体験家族伝承講話」 長谷川桂子様
「日本被団協ノーベル平和賞受賞について」

「サンフレッチェ広島」 箕牧智之様
「宮島と大聖院の歴史」 仙田信吾様
吉田大裕様



日本被団協 箕牧智之様



被爆体験家族伝承者講話



七月十九日、各地区から羽田空港に婦人会二十一名が集合、根室中標津空港へ。ここで青年団十九名と合流し、バスで羅臼国後展望台へ向いました。霞んではいましたが、今は自由に行けない二十五キロ先の国後島を確認することが出来ました。

二日目は羅臼小学校で元島民二世の方から、ロシア軍に強制的に島を追われ、故郷を思いながら亡くなられたお父様の話を、羅臼町長湊屋様は、「北方四島との間は国境ではない中間点で、これは超えられないが、お互いの事を知る対話が大切。今願うことはお墓参りの事だけ」と語られました。羅臼に来る前とは北方領土問題の考えが変わりました。その後、十九名の羅臼町女団連の方を含め合同ワークがあり地元の声が聴くことが出来ました。

三日目は納沙布岬の北方館で館長さんから歴史の説明を受けました。

現地を見ることで理解がより深まりこの事業継続の重要性を感じ、よい機会を与えて頂いた事に感謝しています。

北方領土復帰促進婦人・青年
交流集会に参加して
山口県連合婦人会 副会長 嬉 静恵

次世代リーダー研修会に参加して
柳井市連合婦人会 田中 朋子

二〇二五年九月と十月の四日間に亘り、筑波大学春日講堂で行われた次世代リーダー研修会に参加してきました。

全八講座で特に印象に残ったことをいくつかご報告したいと思います。

筑波大学は「えっと思う事を体験させ、新しい事、好きな事、興味のある事を追求するテーマパークのような大学」を目指しているとの学長のお話。ワクワクしながら拝聴しました。出来ることなら私も孫と一緒に行けたらなと思いました。

長生きの秘訣は、食事と運動と睡眠。食事は動物性たんぱく質、特に豚肉が良く(アルブミン)、筋肉を使う運動の継続、睡眠不足は感染症に罹り易いなど、多くのことを学ばせて頂き、とても充実した四日間でした。

交流会では、他県の婦人会の方々と意見交換が出来、参考になることが多く、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

全女会の会長様はじめ準備をしてくださった茨城県女性会の方々、研修会参加を推薦してくださった方々に感謝いたします



次世代リーダー研修会
inつくば



筑波大学春日講堂にて



懇親会

「久しぶりの学びの時間」

宇部市 藤井 茉莉

初めてこちらの研修会のお話をいただいた際、よくある一般公開セミナーだと思って参加いたしましたので、想像を上回る大きな収穫があった研修会であつたと思っております。

大学の講堂で日本全国から集まった年齢層も職業も異なる方と、講義の間に雑談する中でお聞きした話も興味深く、日頃とは異なる空間で新しい視点からの話をお聞きすることが新鮮でした。普段から様々な方にお会いする機会が多い方だと思いますが、それでも身の回りにいる方たちには偏りがあつたのだと再発見できた気がいたします。

講義自体も素晴らしく、先生方の話術も巧みで引き込まれるように聞くことができました。運動機能や睡眠といった身近な内容から、ニュースで見られるような最先端の話まで、多種多様な話題で構成されていたのも一因かもしれません。新しいことを知ることが楽しいと思えたのは、久しぶりだったような気がします。この気持ちを忘れないように、小さなことでも良いので学ぶ姿勢を持ち続けたいと思います。

募金のご報告

あたたかいご支援ありがとうございました

ミャンマー国地震災害義援金 287,957 円
 長年結核対策で支援し交流してきたミャンマー国のために
 救援金として全国結核予防会へ寄託しました

祝 令和7年度表彰

おめでとうございます

文部科学大臣表彰 理事 古田尊子様
 山口県教育委員会表彰 副会長 嬉 静恵様

フィルムレポート



萩市明木婦人会

防災学習会



萩市佐々並婦人会

食品表示セミナー



藤家会長あいさつ

理事総会



山陽小野田市連合女性会

北方領土研修会



カリエント共催事業
 楽しく健活セミナー

理事研修



遊休品バザー開催
 和木町婦人会

もったいない運動



歯舞昆布入りタケノコ寿司



下松市連合婦人会



山陽小野田市連合女性会

昆布料理講習会

2026年度 主要事業

- 4月22日(水) 令和8年度理事総会 (カリエント山口)
- 5月9日(土) エンパワーメントフェスタ2026
- 6月18日19日 全女会全国大会 (北海道札幌市)
- 10月6日(火) 地域婦人会リーダー相互研修会 (山陽小野田市民館)
- 9月26日27日 全女会中国ブロック会議 (鳥取県)
- 8月~12月 複十字シール運動
- 9月~12月 高齢者交通安全世帯訪問

編集委員 藤本、片岡、井口、篠本

瑠璃光寺の五重塔も改修
 工事が終わり美しい姿を見
 せてくれました、その日は
 雪化粧も見られたよう
 です。
 新体制での取り組みに参
 加する事が出来、身の引き
 締まる思いです。
 そして、気候の変化に体
 調管理が如何に大事かを感
 じさせられます。
 午年の今年蹄の音も高ら
 かにの気持ちで、地域はも
 とより、全国何処でも活動
 を楽しみ、スタートしたい
 と思います。

編集後記

安全で良い品を、より安く、
 しかも環境にやさしい化粧品
ちふれ一人一個購入運動



**ピュア
 オリーブオイル**
 こっくりタイプ
 20ml 税込み1,100円



**ピュア
 スクワンオイル**
 さらさらタイプ
 20ml 税込み1,100円